

トヨコ通信

2006年 5月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ子後援会
発行日 : 2006年 4月 28日 第43号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
日本共産党大垣市後援会
Tel 74-3449 Fax 73-8572

3月議会報告開始

3月議会報告を開始しました。主に、国民保護関連2条例の問題について訴えました。わざわざ家から出てきて「共産党には頑張ってもらわねば・・・」と励ましてくださる方もいてうれしかったです。国会では、憲法改悪の露払いでもある教育基本法の改悪案が上程されようとしている情勢で、この問題にも触れなければと思っています。



「まち研」しませんか？

現在、全国各地には「まち研」という市民の研究会があります。わが町の財政や政策について調べる研究会です。私も大垣市政を3年間見てきて、大垣市の財政分析を行う必要を感じています。基本的なデータは入手することができます。これを基にしていろいろ検討してみようと大垣市の「まち研」を立ち上げることにしました。興味のある方は是非参加してください。(連絡先 Tel&Fax 81-1383) 裏面には大垣市の財政の一部を掲載しました。



我が家の庭の花

おどり子草



アメリカの“自由”とは・・・

この春、ニューヨークなどアメリカ東海岸に行く機会がありました。ボストンやフィラデルフィアなどはアメリカでは最も古い歴史を持っている地域です。アメリカ独立戦争の発祥の地でもあり、建国当初の建物や独立戦争に勝利した時に打ち鳴らされた「自由の鐘」などがありました。ニューヨークでは「自由の女神」を見学しました。

そこで感じたことですが、アメリカにとって「自由」に対する思い入れは桁外れ、「9・11」のテロの影響と思われるかもしれませんが、「自由の女神」や「自由の鐘」を見学するとき異常と思えるセキュリティチェックが行われました。

トーマス・ジェファークソンの書いた独立宣言には「全ての人間は平等的に創造され」また各人は「生命、自由、幸福の追求」に対し否定しがたい権利を有すると宣言しています。

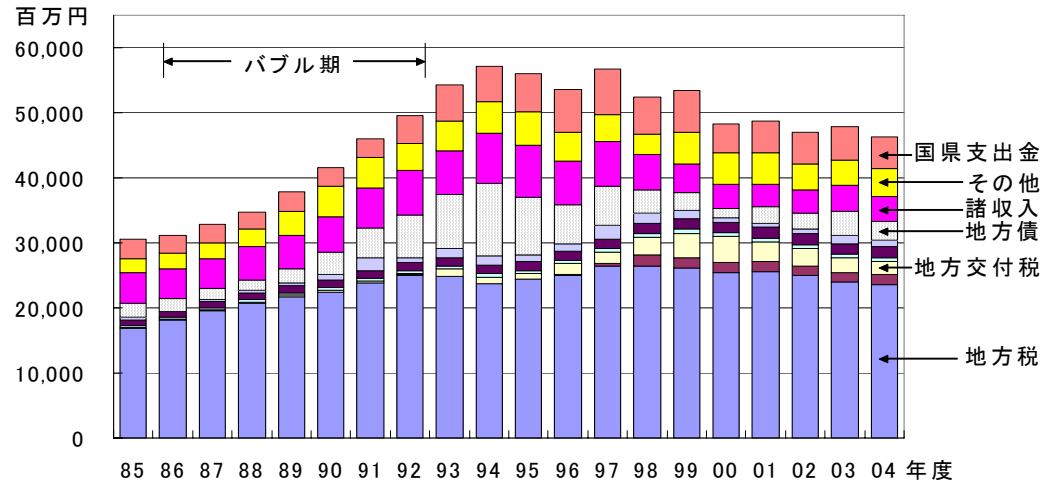
しかし、今のアメリカをみると、“自由”の名のもとで戦争を行ったり多国籍企業の“もうける自由”ばかり目につき、“誰のための自由か”改めて考えさせられました。



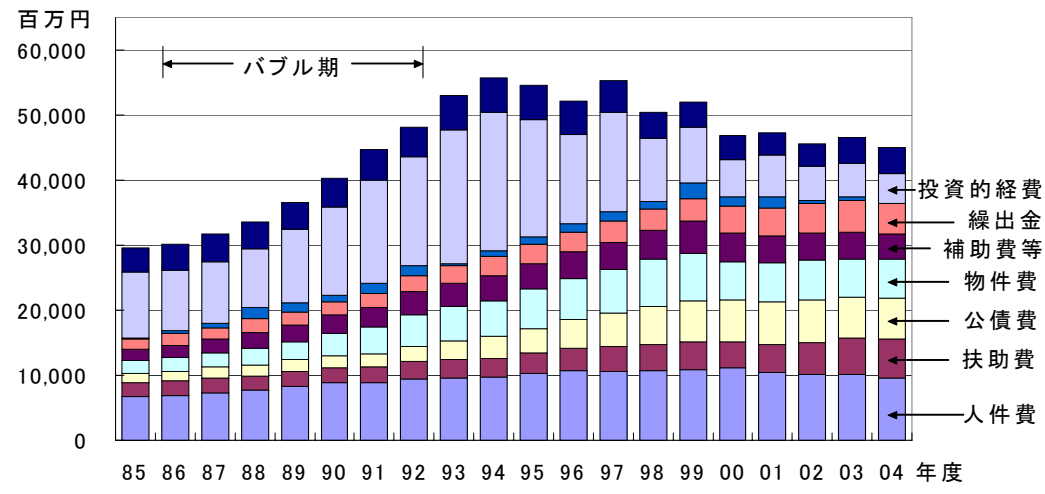
大垣市の財政状況

過去20年間の歳入・歳出額の推移

歳入決算額の推移



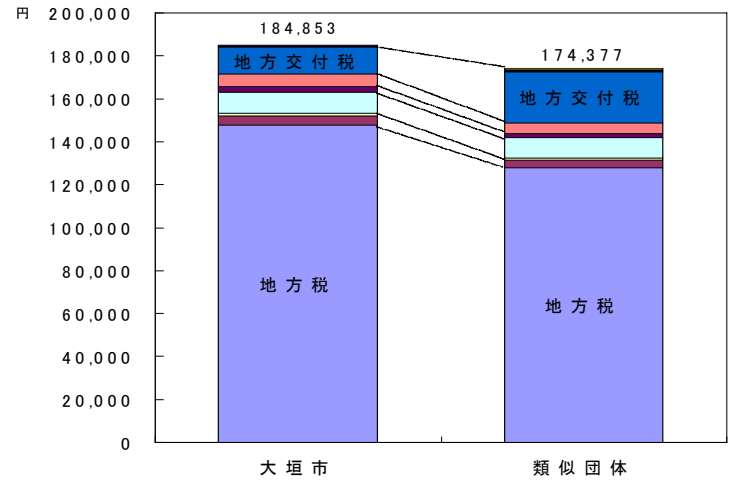
性質別歳出額の推移



大垣市の過去20年間の歳入・歳出の推移を見ると、バブル期の後半からバブル期の終了後数年にかけて、地方債の発行が多く投資的経費に使われている。その後、公債費（借金返済）の負担が年々高くなり、義務的経費の増加の主要な要因になっている。

類似団体と比較してみると・・・（平成15年度決算カードより）

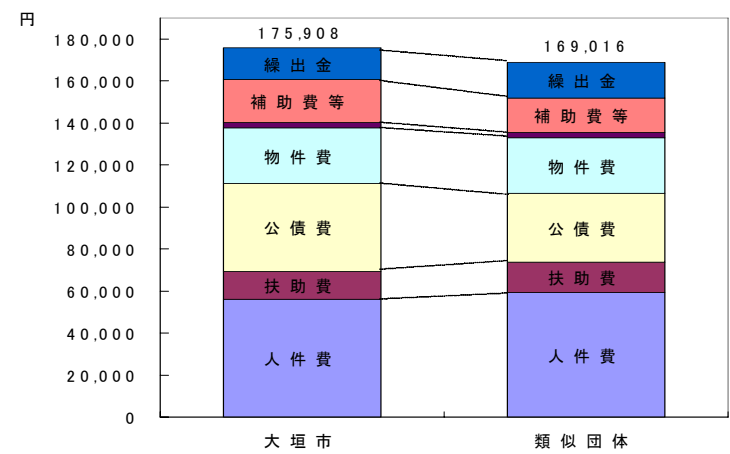
経常一般財源等における人口1人当たりの歳入状況



自治体が自由に使える一般財源の歳入・歳出について類似団体と比較してみました。

歳入については大垣市は地方税の占める割合が高く、歳入額も多い。

経常経費充当一般財源等における人口1人当たりの歳出状況



歳出は類似団体と比べて人件費、扶助額は少なく、公債費の占める割合が高い。

投資的経費については類似団体と比べて普通建設事業費が高く、特に単独事業が大きいのが特徴。

大垣市：25,337円
類似団体：18,957円

	大垣市	類似団体
経常収支比率	85.7%	87.3%
財政力指数	0.90	0.82
公債費比率	17.8%	15.6%

～用語解説～

一般財源等：地方税、地方譲与税、地方特例交付金及び地方交付税等、財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用できる。

義務的経費：人件費、扶助費、公債費で任意に削減できない極めて硬直性が強い経費。

投資的経費：道路、橋りょう、公園、学校、公営施設の建設等に要する経費。